

第35回 北方民族文化シンポジウム 網走 開催要項
The 35th International Abashiri Symposium

大林太良・学問と北方文化研究 —大林太良先生没後20年記念シンポジウム—

幅広い知識を基盤に神話、日本を含む東アジア、そして北方地域の文化研究を進めてきた北方民族博物館初代館長・大林太良先生（おおばやし・たりょう 1929-2001）の業績を振り返り、今後の北方文化研究の方向性と展開を検討します。

■日 程 令和3年（2021年）10月16日（土）・17日（日） 各日9:00～16:00

■開催方法 原則としてZoom ウェビナーによるオンライン開催 【参加無料】（定員：先着100名）
※事前のお申し込みが必要です。詳細は下記の「参加申し込み」をご覧ください。

■主 催 一般財団法人北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館

■後 援 網走市、網走市教育委員会、北海道民族学会、北海道考古学会、北海道博物館協会

* 当シンポジウムは網走市からの助成によって開催されます。

* 参加申し込み *

北方民族博物館公式サイト 第35回シンポジウムページ (<http://hoppohm.org/symposium35.html>)
から、フォームに必要事項を記入して登録してください。

こちらからも
申込ページにアクセスできます→



◇申し込み締切 2021年10月8日（金）正午

◇登録後、自動返信メールにてシンポジウム参加のためのリンクをお知らせします。

1日目と2日目でアクセス先が違いますのでご注意ください。

自動返信メールが届かない場合、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】 〒093-0042 網走市字潮見309-1

北海道立北方民族博物館内・北方民族文化シンポジウム事務局

（担当 博物館課：笹尾、学芸グループ：中田）

E-mail: tonakai@hoppohm.org / TEL.0152-45-3888 / FAX.0152-45-3889

*個人情報の取り扱いは、北海道立北方民族博物館オンライン講座運用ポリシーに従います。

*都合により、内容や日時が変更・中止になる場合があります。

□発表者・コメンテーター（敬称略／順不同）

クライナー ヨーゼフ（ボン大学 名誉教授）

石井 正己（東京学芸大学 教授）

横山 廣子（国立民族学博物館 名誉教授）

松村 一男（和光大学 教授）

シンジルト（熊本大学 教授）

荻原 眞子（千葉大学 名誉教授）

佐々木 史郎（国立アイヌ民族博物館 館長）

岸上 伸啓（人間文化研究機構 理事、国立民族学博物館 教授）

高倉 浩樹（東北大学東北アジア研究センター 教授）

加藤 博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授）

吉田 睦（千葉大学 教授）

呉人 恵（北海道立北方民族博物館 館長）

■プログラム

* 都合により変更することがあります。

10/16(土)		10/17(日)	
08:30	受付	08:30	受付
09:00	開会式	09:00	第2部:北方研究の可能性 趣旨説明:荻原 眞子(千葉大学) 「国立アイヌ民族博物館の役割—アイヌ文化研究の方向性」 佐々木 史郎(国立アイヌ民族博物館) 「環北太平洋地域の先住民文化に関する比較研究—大林太良と渡辺仁の視点」 岸上 伸啓(人間文化研究機構、国立民族学博物館) 「北方狩猟採集民文化の形成:民族起源論から集団系統論へ」 加藤 博文(北大アイヌ・先住民研究センター) 質疑・討論
09:30	第1部:大林先生の学問研究とその魅力 「大林太良先生の歴史民族学のルーツ—岡正雄、R.ハイネ＝ゲルデルンとA.イエンセンの恩師たち—」 クライナー ヨーゼフ(ボン大学) 「周縁部から見る中国のエスニシティ—雲南省大理盆地のペー族の動態」横山 廣子(国立民族学博物館) 「大林太良先生の神話学」 松村 一男(和光大学)	12:00	昼食・休憩
12:00	昼食・休憩	13:00	「エミシ研究とシベリア研究における民族学的視座」 高倉 浩樹(東北大東北アジア研究センター) 「日本の北方文化研究における千葉大学の役割と日露研究協力関係」 吉田 睦(千葉大学) 「北方研究における大林太良博士の功績とその言語学的意義」 呉人 恵(北方民族博物館) 質疑・討論
13:30	「大林太良の遺産」 石井 正己(東京学芸大学) 「牧畜民的な集団観の今—チンギス・ハーンのカザフ人末裔たちとのめぐり合いから」 シンジルト(熊本大学) コメント: 荻原 眞子(千葉大学) 佐々木 史郎(国立アイヌ民族博物館)	15:50	閉会式
16:00	質疑・討論		